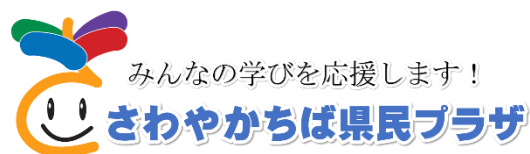


令和 6 年 度

千葉県生涯学習センター・芸術文化センター  
さわやかちば県民プラザ

リカレント教育の推進について  
～「学びの総合窓口」設置の検証～

令和 7 年 3 月



## <目次>

|     |             |     |
|-----|-------------|-----|
| 1   | 調査研究の概要     | 1   |
| (1) | 調査研究の目的     | 1   |
| (2) | 調査研究の内容     | 1   |
| 2   | 各事業の検証結果    | 1   |
| (1) | 相談事業について    | 1   |
| ア   | 相談件数と方法     | 1   |
| イ   | 相談日時と相談者の状況 | 2   |
| ウ   | ホームページの検索数  | 3   |
| エ   | 相談内容        | 3   |
| (2) | 情報提供事業について  | 3   |
| ア   | 提供数         | 3   |
| (3) | リカレント講座について | 4・5 |
| 3   | 考察          | 6   |

## リカレント教育の推進について ～「学びの総合窓口」設置の検証～

### 1 調査研究の概要

#### (1) 調査研究の目的

令和5年5月に県教育委員会は、「千葉県生涯学習推進方針」を策定した。

当該「方針」の現状認識として「人生100年時代」が到来し、生涯のステージに必要な能力を着実に身に付け、発揮することが一層重要となることから、リカレント教育の充実の必要性が示されている。

また、「方針」では、生涯学習推進の柱を「多様な学習機会の充実」「学習に関する情報提供・相談の充実」「学習成果を社会に生かす仕組みづくり」「多様な主体との連携・協働の推進」としている。

「学びの総合窓口」は、令和6年5月26日に「学習に関する情報提供・相談の充実」の多様な学習情報の提供と社会での活躍につながる学習相談と、「学習成果を社会に生かす仕組みづくり」の学習者と社会をつなぐ仕組みの構築を一体的に運用するために、県民の生涯学習の振興を設置目的とし県唯一の生涯学習センターである当所に設置された。

そこで、リカレント教育の推進のために、「学びの総合窓口」が果たす役割について、開設後、約10か月間の成果や課題について検証する。

#### (2) 調査研究の内容

今年度は、「学びの総合窓口」で実施した事業の実績について、その効果等を分析する。

- ・趣味や教養などの「地域活動につながる学び」及び学び直しやスキルの習得などの「職業につながる学び」に関する相談・情報提供の実績
- ・「学びの総合窓口」で広報を行い、当所で映像公開（一部）を行ったリカレント講座の実績

### 2 各事業の検証結果

#### (1) 相談事業について

##### ア 相談件数と方法

学習相談の方法は、学びの総合窓口（以下、窓口）に25件、千葉県生涯学習情報提供システム事業「ちばりすネット Plus」に22件で、図1のとおりであった。窓口での相談では、電話相談が64%（16件）、対面での相談が36%（9件）であった（図2）。

これは、当所が最寄駅から遠方に立地による面もあるが、相談者がまずは電話による相談をハードルが低いと感じ、いるためと考えられる。

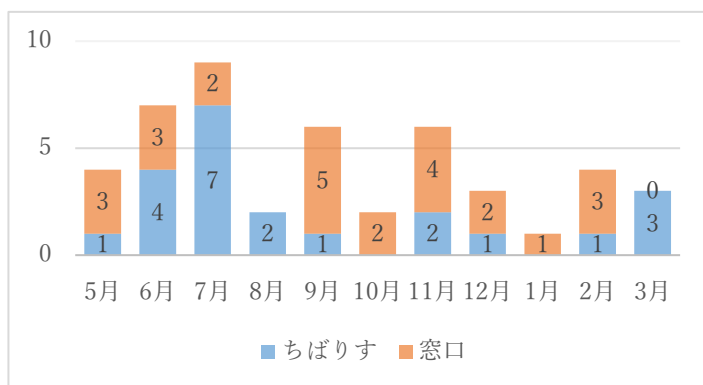


図 1 学習相談件数

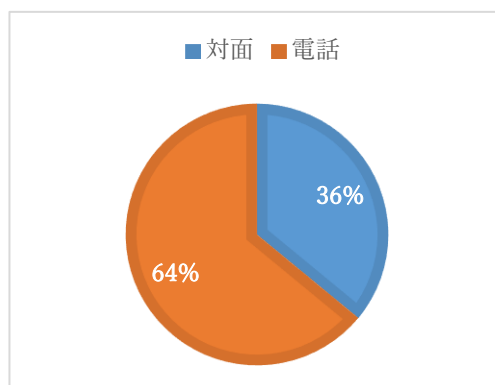


図 2 相談の方法

## イ 相談日時と相談者の状況等

相談の日時は平日が半数以上を占め、時間帯は午後の時間帯の相談が多い(図3)。

また、性別と年代については、男性とシニアが若干多く、特に年代では現役とシニアが大半を占め、学生の相談はなかった(図4、5)。

これは、比較的平日でも時間のあるシニアだけでなく、現役世代も自ら積極的に相談の時間を作っていること、また、学生は相談の必要性を感じていないと考えられる。

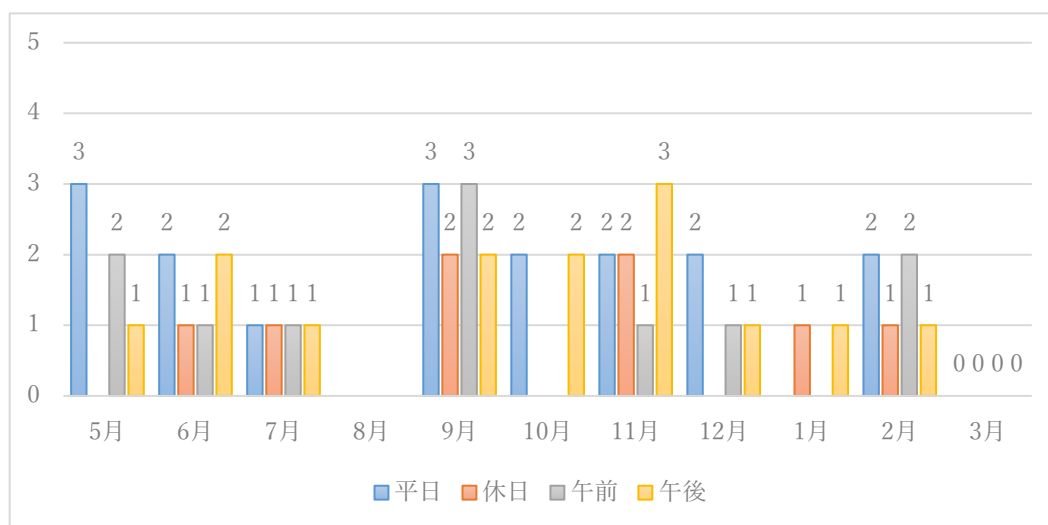


図 3 相談の日時について

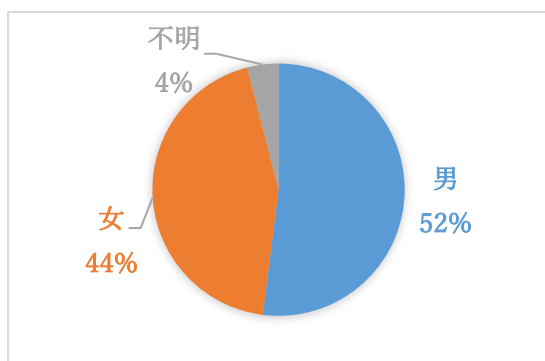


図 4 相談者の性別

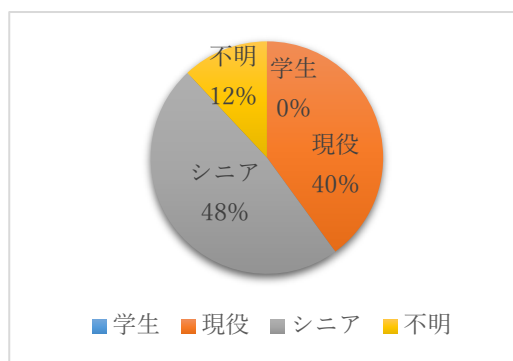


図 5 相談者の年代

## ウ ホームページの検索数

ホームページの窓口の検索数は図 6 のとおりである。開設直後の 6 月は多くの閲覧があったが、その後は月平均 50 回程度となっている。

これは、開設時はマスコミに取り上げられたことや当所のホームページのトップページで大きく広報したことで、閲覧数が多かったと考えられる。

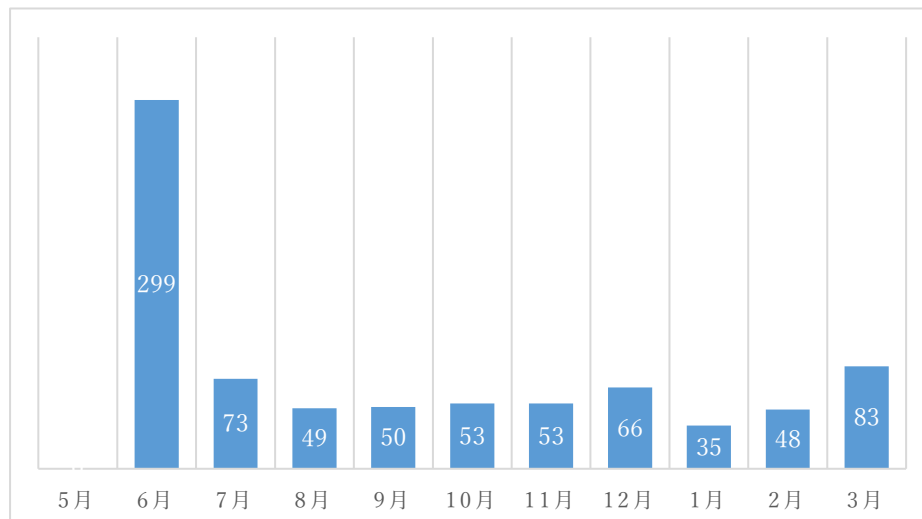


図 6 ホームページの検索数

## エ 相談内容

相談内容の大半は、新規事業であることから窓口がどのようなことを行っているかを教えてほしいというものだった。

窓口に関する具体的な相談内容は以下のとおりである。

- ・窓口の利用方法について
- ・窓口の内容について（2）
- ・キャリアコンサルタントへの相談について（2）
- ・ボランティアを活かしたい

これは、現在の当所ホームページやチラシの掲載の内容では、窓口の業務内容が相談者に分かりやすく伝わっていないと考えられる。

## （2）情報提供事業について

### ア 提供件数

これまで当所職員がネット検索により情報収集していた講座イベント等の情報を、5月から委託事業者が A I を使って情報収集することとし、提供された情報件数は以下の通りである。ちばりすネットを通して、県民に提供した件数は以下の通りである。

| 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 1004 | 1016 | 1000 | 1000 | 1002 | 1004 | 1006 | 1014 | 1003 | 1000 | 1000 |

また、図 7 は当該情報をジャンル別に分類したデータである。一番多いのは、趣味・教養・文化に関する情報で、次いでスポーツ・健康に関するものとなっている。学び直しやリスキリングにつながると考えられるビジネス・資格に関する情報は、年間を通して 1 0 0 0 件程度で趣味・教養等の 4 分の 1 程度となっている。

これは、インターネット上の情報は、趣味や教養などの一般大衆を対象とした情報が多く、ビジネスや資格など専門的情報はそれに及ばない状況と考えられる。

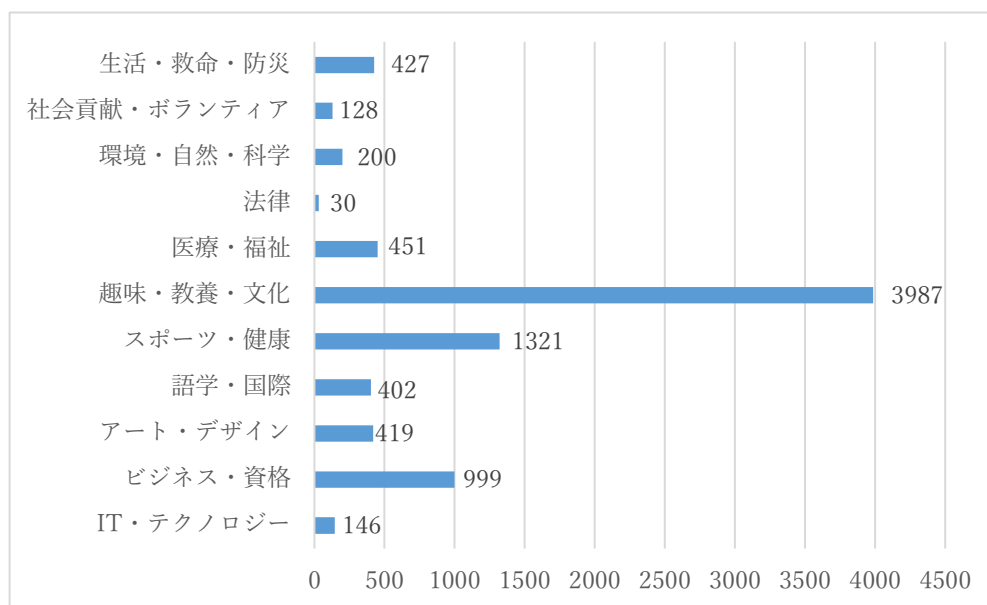


図 7 ジャンル別情報数

### (3) リカレント講座について

講座の内容は、以下の通りである。

|         | 講 座 名                             | 実施日       |
|---------|-----------------------------------|-----------|
| 第 1 回   | 社会人のための話し方・コミュニケーション術             | 7 月 17 日  |
| 第 2 回   | ビジネスに役立つ生成 A I                    | 8 月 8 日   |
| 第 3 回   | 心身の健康を保つ、対話がヒントのウェルビーイング講座        | 8 月 28 日  |
| 第 4 回   | 「農業× I C T」を通じた地域経済の活性化や街づくりをめざして | 9 月 12 日  |
| 第 5 回   | “越境体験” がキャリア成長につながる               | 9 月 18 日  |
| 第 6 回   | 5 0 代、6 0 代からの起業という選択             | 10 月 17 日 |
| 第 7 回   | まちづくりから考える認知症との向き合い方              | 10 月 17 日 |
| 第 8 回   | 中小建設会社の未来と可能性                     | 11 月 11 日 |
| 第 9 回   | 教育業界の課題にどう向き合うか                   | 12 月 5 日  |
| 第 1 0 回 | 市場で求められる人材像と学び直しの重要性              | 2 月 8 日   |

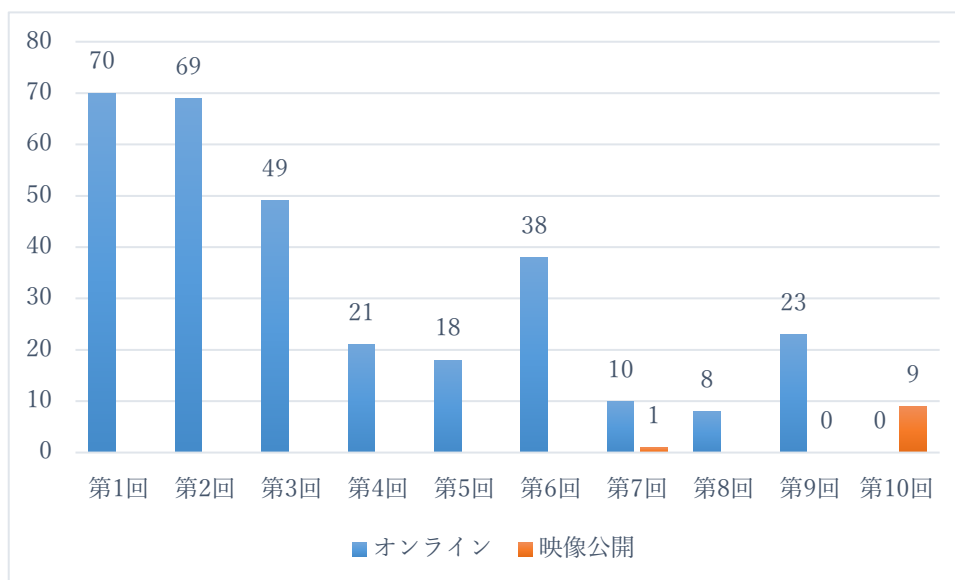


図8 リカレント講座の参加者数

年間を通して10回のオンライン講座を開催した。全ての講座は質問等を含めて1時間程度の講座で、学び直しやリスキリングの内容となっている。

また、図8は各回の参加人数である。各回とも100名定員で、そのうち第7回、第9回、第10回は、当所で映像公開を行った。内容によって参加者数に大きな差がある。

これは、参加が多かった講座は、学び直しやリスキリング、再就職等に有効と思われる内容や社会的関心度の高いものである。農業や建設など対象が限定されるような内容の講座は参加者数が伸び悩んだ。

### 3 考察

実施した相談業務については、その実績の件数や内容を振り返ると十分に成果が上がっていない。今後は、具体的な相談の好事例など窓口の活用方法を一層広報するなど事業の推進に努める必要があると考える。

なお、相談業務は県生涯学習課が所管し委託事業がキャリアコンサルタントなどの専門相談員を活用しオンラインによる体制も整備されており、その相談実績は毎月40件程度あり順調に成果を上げている。

当所の対面や電話等と県生涯学習課のオンラインによる組合せによって、いつでも、どこでも相談できる体制を確保していくことが重要であり、今後も県生涯学習課と連携して相談環境の整備を図っていく必要がある。

情報提供事業については、AIを使って情報収集することで一定の成果を上げることができた。

なお、今後は、ビジネス・資格に関わる情報をより多く収集するよう収集条件を設定し、情報を必要とする県民に幅広く対応できるよう検討する。

また、リカレント講座については、人離れが進んでいる業界の人材確保や人材育成などの観点から一部の講座を選定しており、講座内容による受講率の差があるが、県生涯学習課や委託事業者と協力し、関係する業界を対象に一層の広報を行うなど受講率の向上を図っていく必要があると考える。

当所は更に、リカレント教育の推進のため、学習者の要望に応じた最適な学びを案内する相談体制の構築と、幅広い学習情報の収集・体系化・提供に努めていく。